

今年度第3回ヘリテール

ジマネージャー育成講習 大工歴52年に及び、現
 設センターで開かれ、三浦藤夫三浦工匠店代表取
 締役が「歴史的建造物の修復保全」をテーマに話

承のため開いていた「日
 本建築セミナー」に通い
 文化財の修復等の知見を
 深めた。同セミナーは、
 文化財修復の際に、継手・
 仕口をはじめとする伝統
 的技術が分からず、修復

に困難をきたす事例が続
 出したことに端を発し文
 化庁等が立ち上げたもの
 で、全国から建築家や大
 学教授が集まり月2回、
 座学と現場研修を行った
 「風蝕」「木材の吸水」「立

また約50種の継手・仕
 口で構成された在来構法
 モデルや実際に使用され
 た継手の例でその仕組み
 を解説したほか槍鉋（や
 りかんな）、前手斧（ち
 ような）、大鉞（まさかり）
 などの古道具を使って実
 演し、受講者らも挑戦し
 ていた。槍鉋は力や角度
 が難しく、コツをつかむ
 まで一苦労する場面も見
 られた。風合いやツヤ出
 しのための古式付けも実
 演した。

第3回HM講習

古道具用いて実演実習

三浦工匠 継手・仕口など説明
 店・三浦氏



継手・仕口を学ぶ受講者ら（上）と槍鉋の実演

の解体・組立に自信が付
 き、震災後にも支援する
 ことができたという。
 また、10世紀の「春日
 権現記絵」に描かれた「ち
 ような」「やりかんな」な
 どの大道具を用い、ほ
 とんど同じやり方で造営
 されていることを説明し
 た行為」と話した。

建築での「本歌取り」
 について鶴ヶ城・麟閣の
 例を挙げて説明。持ち主
 の承諾を得て寸違わず
 仕上げることで「本歌」
 が焼失した場合、無償で
 提供するシステムで、そ
 れは「建築だけに許され
 た行為」と話した。

この後、福島市大森の
 安藤大工道具館に移動。
 安藤錬雄安藤組会長が、
 大工時代に加え長年かけ
 て収集した約2000点
 もの大工道具を見学し
 た。